

NOMA経営・人材開発フォーラム2018

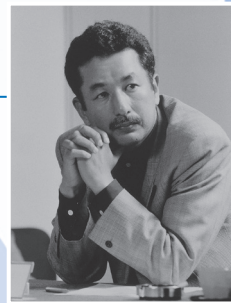
未来を切り拓く 「突き抜ける人材」

～組織の壁、過去の常識をブレイクスルーする～

基調講演

突き抜ける人材

株式会社XEED代表 経営コンサルタント 波頭 亮 氏



企業事例

Lead the Self:
未来を創るリーダーシップ

ヤフー株式会社
コーポレートエバンジェリスト 伊藤 羊一 氏

グローバル時代に
成果を生み出すサムスン流人事

亜細亜大学教授
元サムスン経済研究所専務 張 相秀 氏

特別講演

若手が挑戦する空気をつくり、
組織を活性化するために

ONE JAPAN共同発起人 代表 濱松 誠 氏

困難をチャンスに!
未来へつなぐ突破力

株式会社GHIBLI 代表取締役 坪内 知佳 氏

日時 平成30年 **11月29日(木)** 10:00～17:00

会場 **KFCホール**(東京都墨田区横網1-6-1 / JR・地下鉄「両国駅」下車)

対象 ◎企業・団体の人事部門、人材育成部門および経営企画部門の方々
◎事業部門・技術部門等における管理者・リーダーの方々

開催にあたって

社会の変化は複雑性・不確実性を増し、“1年前に想像しえなかったこと”が起きても不思議ではなくなりました。その背景には、グローバル化やテクノロジーの進展を背景とした産業構造の変化があります。企業のビジネスモデルや組織構造から、一人ひとりの仕事や働き方に至るまで、さまざまなレベルで変化が起きつつあります。

こうした環境のなかで私たちが未来への活路を見出すためには、既存のビジネスや組織の枠組みを超えた発想やチャレンジが求められます。つまり、現状をいかにブレークスルーするのか(突き抜けるのか)という点が問われるのではないのでしょうか。

今回のフォーラムはそのような問題意識のもとでプログラムの全体を構成しております。基調講演・企業事例・特別講演を通し、次のような視点や事例に触れていただければと考えております。—— ①突き抜ける人材が求められる時代背景や産業トレンド ②そうした人材を活かすマネジメントや人事のあり方 ③現場レベルで、既存の枠組みを超えるリーダーシップや働き方

この機会に、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

NOMA経営・人材開発フォーラム企画委員長(TDK株式会社 常勤監査役) 米山 淳二

企画委員会委員 (順不同・敬称略)

企画委員長

米山 淳二 TDK株式会社 常勤監査役

企画委員

杉中 宏樹 アサヒビール株式会社 人事部長
松澤 巧 味の素株式会社 執行役員 グローバル人事部長
馬越 恵美子 桜美林大学 経済経営学系教授
真辺 文宏 鹿島建設株式会社 人事部長
松崎 毅 キッコーマン株式会社 常務執行役員 CHO
滝山 義隆 KDDI株式会社 総務・人事本部 人事部長
口村 圭 コクヨ株式会社 経営管理本部人事総務部 統括部長
神田 秀樹 サントリーホールディングス株式会社 執行役員 人事部長
小向井 秀治 株式会社JR東日本パーソネルサービス 常務取締役 総合研修センター事業本部長

八子 誠 住友化学株式会社 人事部 担当部長
國分 裕之 全日本空輸株式会社 取締役執行役員ビジネスサポート推進部担当 人財戦略室長兼ANA人財大学長
忠津 剛光 株式会社大丸松坂屋百貨店 執行役員 人財開発部長
吉見 彰夫 株式会社竹中工務店 経営企画室 専門役
遠藤 陽 東京ガス株式会社 人事部長
柳井 克之 東レ株式会社 人事部長 兼 人事開拓室長
中村 吉隆 日本生命保険相互会社 理事 人事企画部長 兼 人事部長
森 功一 日本たばこ産業株式会社 執行役員 人事担当
大見 正樹 野村證券株式会社 人材開発部長
江渕 泰久 株式会社ブリヂストン 人事・労務本部長
斎藤 毅 本田技研工業株式会社 人事部長 参与
矢竹 和夫 三菱重工業株式会社 グローバルHR部長
箭内 吉之 一般社団法人日本経営協会 常務理事 東京本部長

2018.9月1日現在

PROGRAM

開会あいさつ

10:00~10:10

一般社団法人日本経営協会 理事長 平井 充則
NOMA経営・人材開発フォーラム企画委員長(TDK株式会社 常勤監査役) 米山 淳二

基調講演

10:10~11:40

「突き抜ける人材」

～脱・常識、脱・標準の人材がなぜ求められるのか～



株式会社XEED代表
経営コンサルタント

波頭 亮氏

不確実で変化の激しいビジネス環境を勝ち抜くには、思考と行動において今までの常識にとらわれないう「突き抜ける人材」を必要とします。また今後、標準的に正しいことを圧倒的な生産性でやっつけるAI化が進展すると、独自の発想と価値創造を行うことが出来る「突き抜ける人材」の重要性が高まることは間違いありません。しかし、日本企業はこうした人材の輩出や活用が得意ではありません。継続や安定を重視する組織風土のなかで、いかに変化や突出をつくり出せるかはマネジメント上の大きなチャレンジです。

この講演では「突き抜ける人材」をキーワードに、日本企業が今後考えるべき課題を考えます。また、私たちが(特に未来を担う若い人たちが)それぞれの場所で“突き抜け”ていくためのヒントもお話しします。

【プロフィール】

東京大学経済学部(マクロ経済理論及び経営戦略論専攻)を卒業後、マッキンゼー&カンパニー入社。1988年独立、経営コンサルティング会社(株)XEEDを設立。

幅広い分野における戦略系コンサルティングの第一人者として活躍を続ける一方、明快で斬新なビジョンを提起するソシオエコノミストとしても注目されている。

著書に「突き抜ける人材」(茂木健一郎氏との共著)、『AIとBIはいかに人間を変えるのか』、『経営戦略論入門』、『プロフェッショナルコンサルティング』(富山和彦氏との共著)、『成熟日本への進路』などがある。

企業事例①

12:30~13:30



ヤフー株式会社
コーポレートエバンジェリスト
Yahoo!アカデミア学長

伊藤 羊一氏

「Lead the Self: 未来を創るリーダーシップ」 ～Yahoo!アカデミアが目指す人財育成とは～

ヤフーでは、成長しているインターネット業界において次世代リーダーを輩出するべく、2014年に企業内大学としてYahoo!アカデミアを設立しました。

そのコンセプトの中心にあるのは、“Lead the People”“Lead the Society”の前に“Lead the Self”が必要だという考え。Yahoo!アカデミアでは、一人ひとりが自立した個となることを目指し、そのマインドを鍛えています。また、新しい価値を生み出す受講生同士のコラボレーションを促しています。今回はその取り組みの実際と今後の展望についてお話しします。

【プロフィール】

東京大学経済学部卒業後、日本興業銀行、プラス株式会社を経て、2015年からヤフー株式会社にYahoo!アカデミアの責任者を務める。その他、IBM Blue Hub、KDDI ムゲンラボ、MUFG Fintech アクセラレーター、学研アクセラレーター、森永アクセラレーター、Code Republicにてメンターやアドバイザーも務めている。著書に「キングダム 最強のチームと自分をつくる」「1分で話せ」。

企業事例②

13:40~14:40



亜細亜大学教授
元サムスン経済研究所専務

張 相秀氏

「グローバル時代に成果を生み出すサムスン流人事」 ～創造経営を実現する組織と人材～

サムスンの経営の根幹には人材第一の哲学があり、グローバル戦略を実現する核心人材の獲得や教育投資に力を注いでいます。また、個人と組織の両面をバランスさせた独自の人事制度を構築しています。創造的なモノやコトをつくり出すには優秀な個人のパワーを必要とし、マーケットで勝つためには組織全体のまとまったパワーを必要とするからです。

私は1991年にサムスン経済研究所に入社後、人事組織室で22年間、人事制度・人材開発・組織文化などの調査研究、および新システムの設計や運営に携わりました。その経験をふまえてサムスン流人事の考え方やシステムなどについてお話しします。

【プロフィール】

チャン・サンスウ 1955年韓国生まれ。慶應義塾大学経済学修士、同商学博士。サムスン経済研究所の専務(人事組織室長)などを経て、現在、亜細亜大学都市創造学部専任教授 兼 同大学アジア・国際経営戦略研究科兼任教授。

韓国では成均館大学校経営大学院招聘教授、延世大学東西問題研究院客員教授、韓国人的資源開発学会会長、韓国人事管理学会副会長などを歴任。著書に「サムスン・クライシス 内部から見た武器と弱点」などがある。

特別講演

14:50~15:50



ONE JAPAN
共同発起人・代表

濱松 誠氏

「若手が挑戦する空気をつくり、組織を活性化するために」 ～大企業の若手有志のコミュニティ「ONE JAPAN」の活動～

若手社員は、所属する組織内に存在する新しいことをやっではいけない空気、イノベーションを起こせない空気の中でさまざまな困難や、障壁、悩みを抱えています。そして、私たちは挑戦すべき世代である若手社員が、この「空気」を読んでしまっている状態を大きな課題だと考えています。

ONE JAPANでは、その空気を打破し、組織を活性化し、社会をより良くするための活動を行っています。立場や組織を越えて、イノベーションを起こす、挑戦行動を促すコミュニティづくりのストーリーをお聞きください。

【プロフィール】

大学を卒業後、2006年パナソニックに入社。海外事業に従事した後、2012年に本社人事へ異動。採用戦略や人材・組織開発を担当。同年、社内の組織活性化をねらいとした有志の会「One Panasonic」を立ち上げ、これまでのべ5000人が参加。2016年、トヨタ自動車、NTT東日本など、大企業の同世代で同じ課題意識を持つ者たちを集め、有志団体「ONE JAPAN」を設立、代表に就任。また、パナソニック初のケースとして資本関係の無いベンチャーへの出向を経て、2017年7月より、家電部門の新規事業を担当。日経ビジネス「2017年 次代をつくる100人」に選出。

ONE JAPANとして初の著書「仕事はもっと楽しくできる 大企業若手50社1200人 会社変革ドキュメンタリー」を上梓。

特別講演

16:00~17:00



株式会社GHIBLI
代表取締役

坪内 知佳氏

「困難をチャンスに!未来へつなぐ突破力」 ～萩大島船団丸の歩みから～

漁獲高低迷、経費高騰、地域の衰退に歯止めをかけるべく、山口県萩市大島に所属する旋網(まきあみ)船団が立ち上がり、2010年から6次産業化への取り組みを開始しました。2011年に農林水産省から認定を受け、自家出荷に取り組んでいます。

2014年に株式会社GHIBLIとして法人化。萩大島のビジネスモデルを全国に水平展開中です。

このたびは地方創生の取り組みから、経営改革に必要なヒントを見つけていただくべく、メディアでは放送されない7年間の船団丸の歩みを皆様にお聴きいただけます。

【プロフィール】

1986年福井県生まれ。名古屋外国語大学を中退後、萩市へ移住。翻訳とコンサルティング業務を行う事務所を設立する。2010年10月に知見のなかった漁業の世界に飛び込み、2011年3月、約60人の漁業者をまとめ、萩大島船団丸を設立し代表に就任。魚の販売先を開拓する営業、商品管理と配送業務、3船団のマネジメントをまとめあげ、萩大島から6次産業化事業を牽引している。

日経Woman of the year 2014キャリアクリエイティブ賞を受賞、日経ビジネス2017年版「次代を創る100人」などに選ばれる。著書「荒くれ漁師をたばねる力」朝日新聞出版

参加要領

所定の参加申込書に必要事項をご記入の上、郵送又はFAXにて下記へお申込み下さい。折り返し、参加券と振込口座名を記載した請求書をご派遣責任者までお送りします。

参加料は開催の3営業日前までに必ずお振込み下さい。(経理処理の都合等にて遅れる場合にはご一報下さい)
振込手数料は貴社(団体)にてご負担下さい。

参加料

①ご参加者が1～4名の場合

本会会員	1名あたり 16,200円(うち消費税1,200円)
一般	1名あたり 21,600円(うち消費税1,600円)

②ご参加者が5名以上(～10名)の場合

本会会員	1社あたり 81,000円(うち消費税6,000円)
一般	1社あたり 108,000円(うち消費税8,000円)

- 参加者10名までは、参加人数に関わらず上記金額といたします。
- 参加者10名を超える場合は、1名につき下記金額を加算します。
<本会会員> 5,940円(うち消費税440円)
<一般> 8,640円(うち消費税640円)

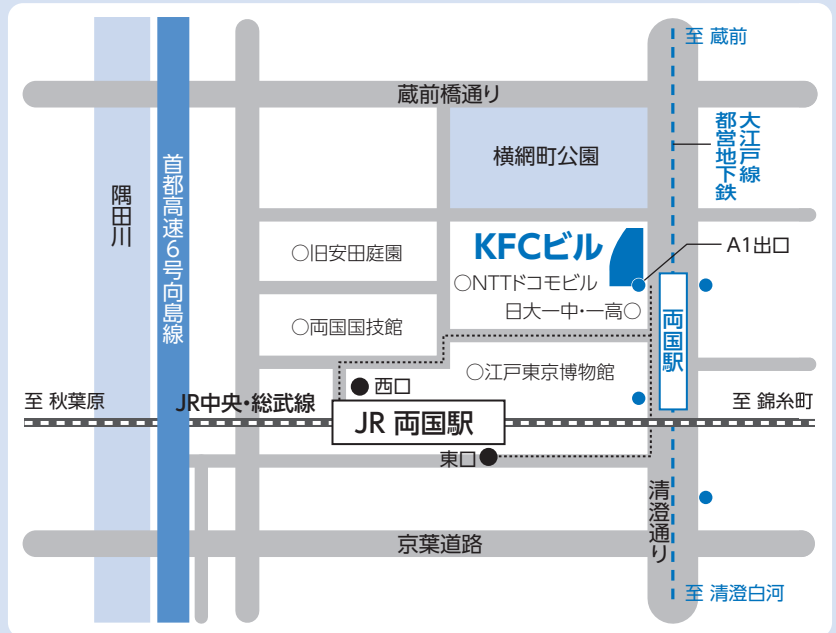
例：本会会員が13名参加→81,000円+5,940円×3名=98,820円

会場情報

KFCホール(東京都墨田区横網1-6-1)

◎都営地下鉄大江戸線「両国駅」…A1出入口より徒歩1分

◎JR中央・総武線「両国駅」……東口より徒歩6分/西口より徒歩7分



お問合せ・お申込先

一般社団法人 日本経営協会

NOMA経営・人材開発フォーラム事務局

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8

TEL:(03)3403-1716(直) FAX:03-3403-8417

URL:http://www.noma.or.jp

- 電話による予約も承ります(その場合は後日必ず申込書をご送付ください)。
- 参加料は原則返金致しかねますので、参加者のご都合が悪くなった場合は、代理の方がご出席下さい。また、貴社(団体)のご都合にてご欠席の場合は、必ず開催3営業日前までにご連絡下さい。ご連絡のない場合は参加料をいただきますのでご承知おき下さい。
- 領収書は「振込金受領書」を持って代えさせていただきます。ご了承下さい。
- 天災などでやむなく中止・延期をさせていただく場合があります。中止・延期の場合は速やかにご連絡の上、全額返金させていただきます。
- 会場内での録音・録画、写真撮影はご遠慮下さい。

『NOMA経営・人材開発フォーラム2018』参加申込書

FAX 03-3403-8417

平成30年 月 日 申込区分：会員 一般

※11名以上でご参加の場合はコピーしてお使いください

(フリガナ)		(フリガナ)	
会社名(団体名) ※必須		派遣責任者 氏名	
所在地 ※必須	(〒)	所属 役職	
	TEL ()		FAX ()

	参加者氏名(上部にフリガナ)	所属・役職
1		
2		
3		
4		
5		

	参加者氏名(上部にフリガナ)	所属・役職
6		
7		
8		
9		
10		

※参加申込書にご記入いただいた情報は、下記の目的に使用させていただきます。

①参加券等の発送などの事務処理 ②セミナー・イベントなどの本会事業のご案内 なお、②がご不要の場合はにチェックをしてください。 不要